

祈りについて

(118)

● 祈りの靈的意義と本質——祈りは大いなる靈的活動

- ・ 神に近づこうとする魂の願望
- ・ 靈的自立を促すための不可欠な行為
- ・ 人間の靈性の表現であり、理想に向けての魂の決意表明
- ・ 背後の靈との結びつきを深める強力な手段
- ・ スピリチュアル・レベルでの靈的修行
- ・ 利他愛実践の意欲を高める靈的手段
- ・ 人類愛の実践内容——“人類愛”には必ず真実の祈りがともなう

・ どこまでも靈的成長のための一手段（目的ではない）

● 祈りの靈的効用——靈的人生に不可欠な祈りの実践

- ・ 靈的エネルギーが取り入れられ、靈的意識が高まる
- ・ 靈的人生の実践が強化される
- ・ スピリチュアル能力が引き出される
- ・ 祈りの効用を決定するのは、祈る人間の靈格

● 祈るための資格

- ・ 最高の誠意が要求される祈り
- ・ 神の前での誠意とは

● 祈りのための準備運動（靈的ウォーミングアップ）

- ・ 祈りに先立つ靈的準備運動……外部から靈的エネルギーを

取り入れる

靈的意識を引き上げ靈主肉従の状態にする
祈ることができないときは無理に祈らない

- ・ 靈的準備運動の具体的な方法……瞑想
- ・ 靈的真理の集中読書は、最高の靈的準備運動

● 祈りの具体的方法と祈りの内容

- ・ 祈りの対象について（誰に向けて祈るのか）……神（大靈）
- ・ 祈りの時間と場所について……祈りやすい時間・場所は自分の靈的感覚で判断
- ・ 祈りは一人すべきか、皆と一緒にしてもよいのか……原則は一人

同じ思いを抱いたスピリチュアリスト同士の祈りの会

- ・ 祈りは声に出してすべきか、心の中ですべきか
- ・ 神の呼称について（神を何と呼ぶか）……大靈、神、大靈様、神様、天の親様など

- ・ 祈りの内容について——神に語りかける最低限のエチケツトを守る

△正しい祈りの項目と具体例▽

◆ 自分の靈的成長に関する祈り

- ・ 自分の醜い心をなくし、弱い心を強くしてほしい。（靈主肉従）

- ・ 魂を成長させるための苦しみに耐える力を与えてほしい。

(苦しみへの正しい対処)

◆利他愛実践と伝道に関する祈り

・もっと深く人を愛せるように、自分の心に広くて純粋な愛をやどらせてほしい。

・周りの人々に一刻も早く時期がきて、霊的真理を受け入れられるようになってほしい。

・時期のきた人と出会わせてほしい。(伝道)

◆道具意識に関する祈り

・もっと人々のために働かせてほしい。霊界の道具として役立ててほしい。

◆犠牲精神と使命に関する祈り

・人類のために、犠牲の道を歩ませてほしい。

◆霊的視野に立つて自分の心を広くするための祈り

◆神の愛と摂理の支配を賛美する祈り

◆スピリチュアリズムを進める高級霊に対する感謝の祈り

◆スピリチュアリズムの展開に関する祈り

◆人類全体の霊的向上と霊的同胞世界の確立を願う祈り

◆触れ合う人々の霊的成長と真の幸福を願う祈り

●祈りの結果について

・祈りを聞き届けるのは霊界の霊たち(摂理を通して)

・正しい祈りは、正しい結果をもたらす

・間違った祈りは無視される

・祈りの結果

①祈りが正しくて(動機が純粋で祈りに誠意がこもっているため)、良い結果(霊的恩恵)が現れるケース。祈りが聞き届けられるという理想的なケース。

②祈りの言葉は正しいが、祈る人の内面に問題(動機が不純・祈りに誠意がこもらず口先だけ)

があるため、祈りが無視されるというケース。

③祈りは正しいが、相手に問題があるために良い結果が現れないケース。相手に摂理的条件が

満たされていないために聞き届けられないケース。

④祈りは正しいが、結果が現れるにはもう少し時間がかかるケース。しばらくして聞き届けられる可能性があるケース。

⑤祈りの内容が間違っているために聞き届けられない(無視される)ケース。最も多いケース。

⑥祈りは間違っているのに、一見すると聞き届けられたかのように思われるケース。低級霊の働きかけによる最悪のケース。

●祈りにもとうとう霊的反応と心霊体験

・霊的エクスタシー体験……最高の神秘体験(三昧の世界、ニルバーナの境地)、サイキック現象

・祈りにもとうとう心霊体験とその危険性……瞑想・祈りの場には低級霊が押しかける

霊媒体質者は真理による“霊的武装”が不可欠

瞑想・祈りでは心霊現象が引き起こされることがある
が、心霊現象を大げさに考えない

スピリチュアリズム普及会
シルバーバーチは語る読書会